

## 前庭のモニュメント(記念碑)が白亜に蘇りました

今年のホームカミングデーの講師から、自分たちの知っている白亜に輝いていたモニュメントが、30数年の歳月の中、白から黒に近い状態に変わっていると指摘され、高圧洗浄機で洗浄した結果、完全復元とまでいきませんでした。再び輝く白亜に蘇りました。

このモニュメントは、60周年記念事業の一環と造形作家の榎本建規氏(5回生)が、「対話」をテーマにデザインされ、花崗岩を材料とし、高さ2mと3m2つの三角錐を合わせて建立されました。

「対話」やモニュメントに彫まれた「創(クリエイティブ)」は、現在の教育の現場で重要課題となっています。30年以上前にそれを取り上げたことは、横須賀高校の先見性であると、自負しています。



モニュメントには、「人」の字の如く、一方が高く天に伸び他方がしっかりそれを支えているといメッセージが込められています。